

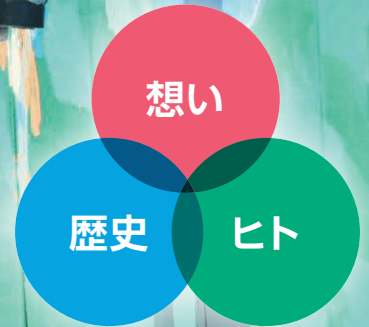


(旧)役場跡地の未来を考える

利府町プレイスデザイン ワークショップ



この場所に
どんな**未来**を
創造しますか



写真：絵本作家 ちゅうがんじたかむさんと描く「わたしたちのまち」

多くの方に惜しまれながら、その役割を終えた旧利府町役場庁舎の跡地について、この場所が持つ歴史的な背景を踏まえつつ、町民の皆さまの考える利活用案を作り上げるために、公立大学法人宮城大学の協力を得ながらワークショップを開催しました。



(旧)役場跡地の場所



昭和39年 利府村役場



(旧)生涯学習センター

利府町プレイスデザイン

2025年2月26日～2026年3月17日(6回の活動と報告会)



▲各回の詳細は町ホームページで公開しています

1回目 2025.2/26



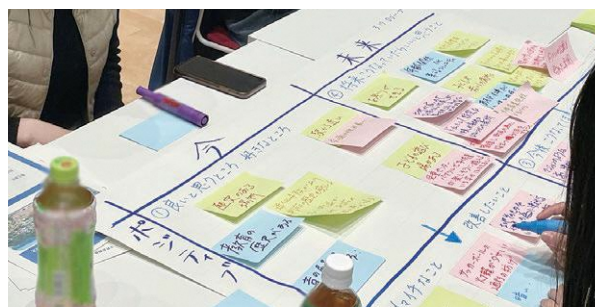
ワークショップの進め方、意見交換のルールを決めました

第1回目では跡地の利活用を検討する基礎資料として、利府町が宿場町であった歴史について共有し、第2回目以降のワークショップの進め方について話し合いました。
(参加者：36人)

2回目 2025.3/17

利府町の良いところ・悪いところ、今と将来について

跡地の小学校用地としての歴史と特産品である利府梨の成り立ちについて共有し、大町地区(跡地の位置する行政区)の現状と未来の姿について話し合いました。
(参加者：36人)



3回目 2025.5/19



この場所で実現したい景色を想像

利府町の歴史に関する写真資料を共有し、実際の土地利用のイメージについて話し合いました。
(参加者：24人)

4回目 2025.7/15

イメージ図を用いた意見交換① 民間活力を考える

これまでの意見を図面化した資料を用いて意見交換を行いました。また、民間活力の活用方法についても話し合いました。
(参加者：21人)



ワークショップの活動報告

5回目 2025.8/18

イメージ図を用いた意見交換②

第4回目のワークショップで取りまとめた土地利用イメージに関して、5つのパターン別にメリットとデメリットの観点から話し合いました。

(参加者：29人)



6回目 2025.11/7

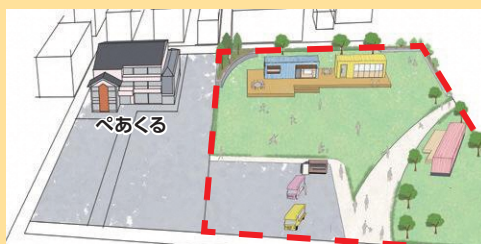


どんな場所にしたいか、何を後世につないでいくか

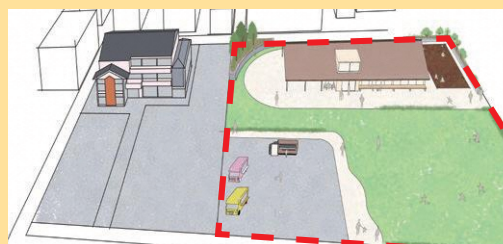
これまでのワークショップで出た意見を盛り込んだ土地利用のイメージ案を見ながら、「旧役場跡地に「どんな賑わいが生まれてほしいか」「次世代にどんなことをつないでいきたいか」を話し合いました。

(参加者：20人)

5つの土地利用イメージ案が完成



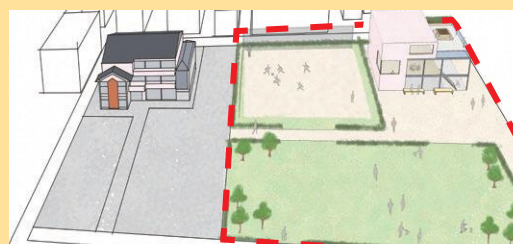
① コンテナハウス+駐車場



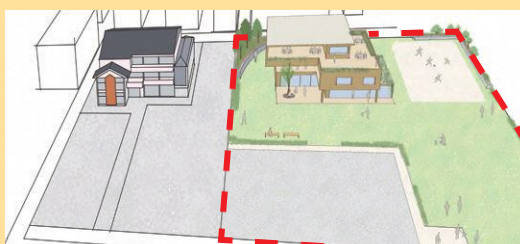
② 木造平屋+駐車場+大屋根・農園



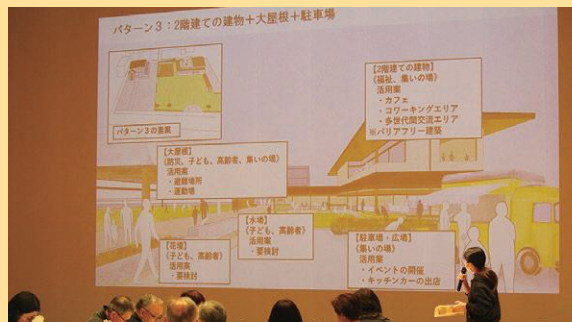
③ 木造2階建て+東屋・農園



④ 3階建て+交流スペース



⑤ 3階建て+駐車場+交流スペース





令和7年2月から始まった、利府町プレイスデザインワークショップで最終的に取りまとめた利活用案などについての報告会を開催しました。

(参加者：49人)



▲報告会の資料はこちら

次世代へつなぎたいものは…



歴史と文化

利府の中心地であった歴史や生い立ち、この場所で紡がれてきた記憶を伝えていく。



人とのつながりと絆

世代間交流を通じて「顔が見える関係」を築き、人とかかわることの大切さや楽しさを次世代に伝えていく。



大人たちの想い

「自分たちが意見を出し合っこの場所を作った」というプロセスを伝え、後世の人たちがさらに良くしていけるような郷土愛(シビックプライド)を育みたい。



InterView 参加者の声

●ワークショップに参加する前、旧役場跡地の利活用について感じていたことを教えてください。

- ・旧役場や生涯学習センターの思い出があり、なぜあの場所にマンションを建設するのか、全体的なビジョンが見えず、町の計画を知りたいと思いました。
- ・新聞で町の計画を知り、旧役場跡地がどのような場所なのか、行政に認識してもらう必要があると感じていた。
- ・自分の住む利府町の土地について、色々な方と考えてみたいと思い参加しました。

●この場所が将来、どんな場所になれば良いと思いますか。

- ・住んでいる地域、年齢、性別にとらわれず町民全員が使える施設になってほしいです。
- ・防災機能を持ちながら、子どもからお年寄りまで、自由かつリーズナブルに使用でき、人の集まる場所になってほしいです。
- ・町民の交流の場になるとともに、町内移動の拠点としての役割を果たす場所になってほしいです。
- ・子どもたちの育成を支援する町の子育て拠点であるとともに、福祉、若年層の起業の拠点、そして町民が自由に集える場所になってほしいです。

これからの旧役場跡地の利活用検討について

旧役場跡地が多くの方に親しまれ愛される場所になるよう、有識者を含めた検討委員会を設置し、利府町プレイスデザインワークショップにて作成いただいた土地利用案を踏まえながら、引き続き土地利用の検討を進めていきます。